

●京の七夕笹竹の入札結果

伏見大手筋商店街振興組合、御園橋 801 商店街振興組合、丹波橋繁栄会、古川町商店街、木屋町会の 5 カ所から入札がありました。昨年と比べると 2 ヶ所少なくなりました。金額にすると 5 分の 1 に減額になります。昨年は商店が開店する前に納品というところが多くありました。商店街当たりの注文数量も大幅に減少して、あまり大掛かりな準備を行わなくても良くなりそうです。

●竹チップ化の試行結果

7m の竹 5 本 10 分間粉碎すると、出来高は 50 立方センチでした。里山の会から 6 名が参加。午前 9 時から場所の整備を行いました。用意しておくように確認していた場所に竹が見当たらず、日程が変更になったのではないかと戸惑いました。打ち合わせでは、長さ 7m 以上の古竹でテストする計画でしたが、運び込まれていたのは若竹で筍から少し大きくなった柔らかいもので、テストには適さないものでした。この青竹の下に固いものが埋まっているとのことで、集まった者が手作業でせつせと運び出しました。一山になるほどのものを除去しましたが、そこにある頑丈なものは見つけることができませんでした、除草作業をされている松見組さんが持ち込んだユンボによっても探していただきましたが、見つけ出すことはできませんでした。

他の工事現場から運び込んでいただいたものを使って試行を開始。騒音は予想通り大きな音が発生します。粉碎機の付近では会話が全く聞こえませんでした。激しい埃が発生するということがでしたが無風状態でもあり、吹き出し口を下部に向けると、それほどことはなく至極順調でした。次に粉碎が順調に継続するかという問題、作業能率にかかわる課題では、トラブルがなく軽快に進むと、7m の長さの 5 本だと 10 分で粉碎できることになります。しかし、運転の最初はトラブルが次々と発生し、そのたびに説明書とにらめっこで仕組みを理解しながら、このボルトだ、そのナットを解けとかの繰り返しで、機械のノウハウを確かめながらの回収になるので、非常に時間がかかりました。

●夏休み親子で遊ぼう学ぼう魚とりの日程確定 7月21日(土)から始めます

今年はお世話係を引き受けていただけたところを最優先で採用することにしました。なんといっても 1 回の開催にスタッフ 30 人近くの体制をつくり上げないと木津川本川での安全確保が難しく、それを約一カ月間に 5 回整えきるということは大変厳しいことです。そこで取り組んできたのが、参加希望者にもお手伝いをお願いして協力いただくということです。特に“川流れ”を行うには全参加者にご協力をお願いしています。暑い折ですので、流れている水に足を入れるのは気持ちのいいことなので、快くご協力が得られます。そのほか参加者確認などの作業にも協力が得られます。こうして里山の会からのスタッフの負担を減少しています。今年は早くから真夏日が続く、そこに地震が追い打ちをかけています。何かと気のもめるころになってきました。現在の子どもたちは水遊びといえど止水のプールであり、自然の風に吹かれ魚が住み、流れの変化や深さの変化、様々な変化を見せて流れ下る川で、水しぶきをあげられる川での楽しい一瞬は忘れられない思い出になります。できるだけ多くの子どもたちに経験させてやりたいと思っています。スタッフなど世話役のお手伝いを頂ける皆さま、こぞってお越しく下さい。前号ニュースで開催日をお知らせしておりますので、今から名乗りをあげていただければ本当に助かります。よろしくお願いします。

●オオムラサキの観察会

1 回目 7月1日(日) 2 回目 7月7日(土) 集合午前 10 時 普賢寺小学校又は里山農園、昨年からオオムラサキの成虫の姿をさっぱり確認できていません。ナラ枯れ木の続出で、樹液を出してくれる樹木が少なくなっているからではないかと予想しています。トラップを仕掛けて誘っているのですが、さっぱり効果が上がりません。担当していただいている金田さんは苦心を重ね、苦労しながら取り組みを工夫していただいています。頭が下がります。幼虫はかなりの数で確認できていますので、間違いなく成虫に成長しているはずですが、また、ご参加で多くの瞳が集まればきっと発見できることがあると思います。大勢のご参加をお待ちしています。

●夜の生き物調べ

7月14日（土）集合16時～7月15日8時 里山農園で、夜に集まってくる昆虫を観察します。大勢のご参加をお待ちしています。昨年も寒冷紗で臨時のカヤを作り上げ仮眠所も用意できました。教育棟は4m×10mもある床板と、それを覆う大きな天井があります。立派な施設が役割を果たしてくれます。仮眠所としては申し分がないと思われます。親子10組ぐらいは収容できる規模です。お早めに申し込みをお願いします。もちろん参加料は格安で、簡単な食事費のご負担をお願いします。先着順の申込ですので、早く里山の会に申し込んで下さい。小学生幼児は保護者同伴です。指導は前近畿大学教授の桜谷保之先生をお願いします。

●里山農園の雑草の除草のお手伝いを求めています

農園の田んぼ枚数は19枚もあります。田んぼの数量だけ畔があって、草刈り作業が大変なのです。7月1日と7日は国蝶オオムラサキ観察会で少なくとも畦道や通路の安全対策として除草は必須の作業なのです。少しずつ刈り取っていますが、なかなか思うようにことが進んでいないのが現状です。ぜひお手伝いにお越しください。暑さ激しい時期になっていますが、午後のひと時それぞれ短時間の作業でと計画しています。6月30日（土）13時からあぜ道の除草（肩掛け草刈り機による作業）です。初心者には使用の手ほどきをいたしますのでどなたもご気軽をお願いします。作業は20分ごとに交代します。

●国交省近畿地方整備局の業務研究会(29日)

里山の会が実施した「中聖牛の製作や設置」その後の効果などを調査研究してきた大学院生の小林慧人君が、取り組みを報告発表します。発表時間は10時10分からです。ぜひ応援にお越しください、お待ちしております。この取り組みは、国交省の職員や業者、研究企業が1年間の成果発表するものです。淀川河川事務所からグループレンジャーとして2年越し2回目の発表です。前は奨励賞を受賞されました。今回は優秀賞の評価を期待しています。もし実現すれば河川レンジャーとして画期的なことであり、NPO里山の会として大変名誉なことでもあります。近畿地方整備局を代表して、全国大会で発表お機会も与えられることになるのです。多くの皆さんの応援をよろしくお願いします。

●さらに多くの皆さんにお越しをいただくためには

自然豊かな里山農園への呼びかけや企画等について年間作業計画を明瞭にわかりやすい計画の起案が必要だと個別専門会議で話題になりました。これを受けて前理事長の深田三郎さんが第1次案として年間作業計画の提案をいただきました。1号地から6号地までの田圃について、活用計画（作付け、施肥、収穫など）を建て、結果を記録できる内容です。

これをきちんと記入して、積み重ねると適地適作が絞り込まれ、土地改良の方向が見えてきます。同時に周囲への手入れと気づきの記入猪杵（防獣柵の点検修理、雑草除去の時期や草花の開花の記入欄の追加）で、里山農園の実態が正確にわかります。こうしたデーターが仲間の輪を大きくする力になるものです。

即ち里山農園を“見えるか”するものです。農園に来た人、耕作した人の頭にのみ残る現象に見えるかするものです。19枚の田圃の一部の活用からの利活用を目指すには、こうした地道な記録が必要です。そして現代社会では失われつつある、自然への働きかけの積み重ねへの実績への理解が深まっていくのではないのでしょうか。

何事もコツコツが大事ではないでしょうか、一昨年から始めた夜の調査会や自然観察会に参加された方々が、いま仲間となって作物の栽培に参加いただいています。少しずつ効果を発揮し、賑わいが増しています。昨年にはなった様子の変化です。息長くがんばりましょう。きっと賑わいが増えると思います。